

平成24年度 在宅医療連携拠点事業

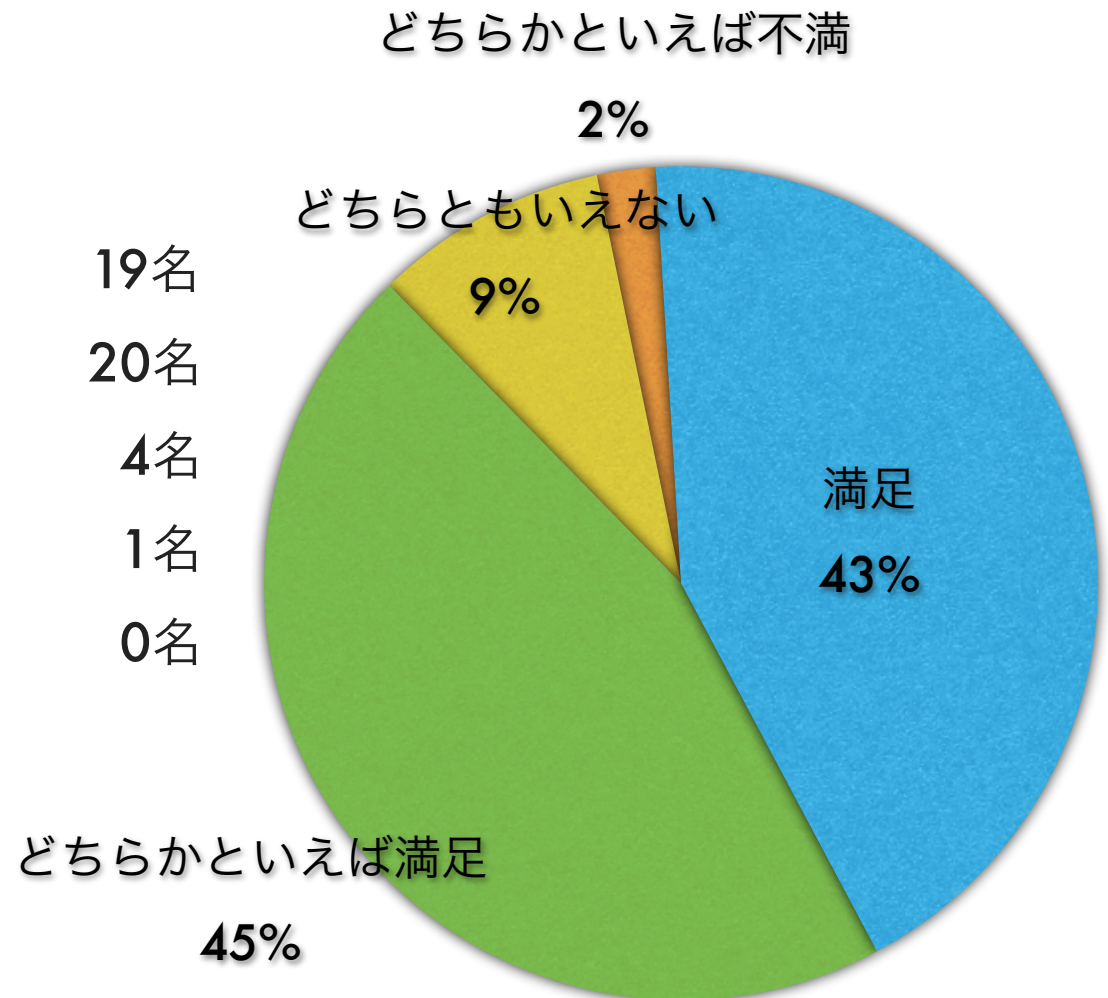
**行政・管理者対象
上町地区多職種交流会
アンケート集計**

医療法人明輝会 内村川上内科

在宅医療連携拠点事業推進室

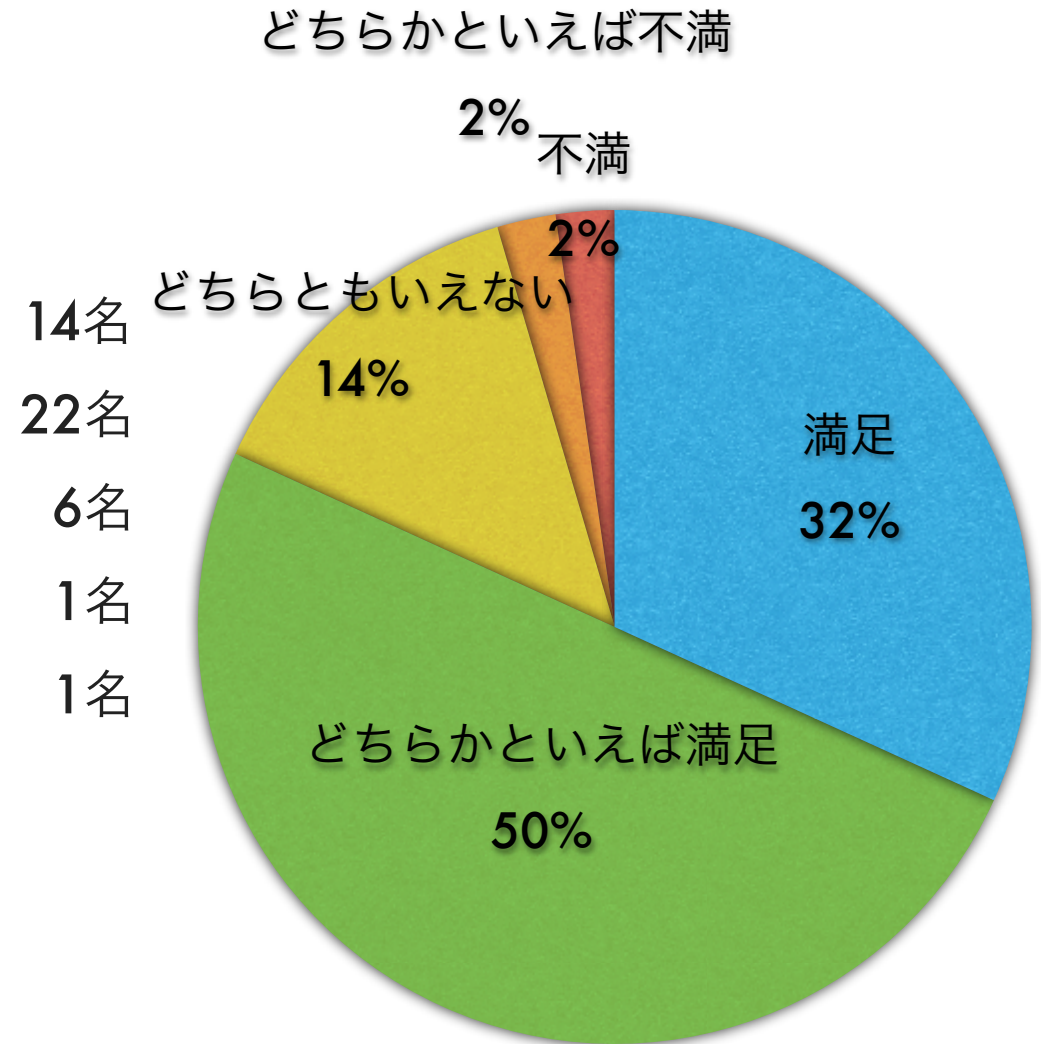
Q1.交流会の進め方または内容はどのように感じましたか？

- 満足
- どちらかといえば満足
- どちらともいえない
- どちらかといえば不満
- 不満



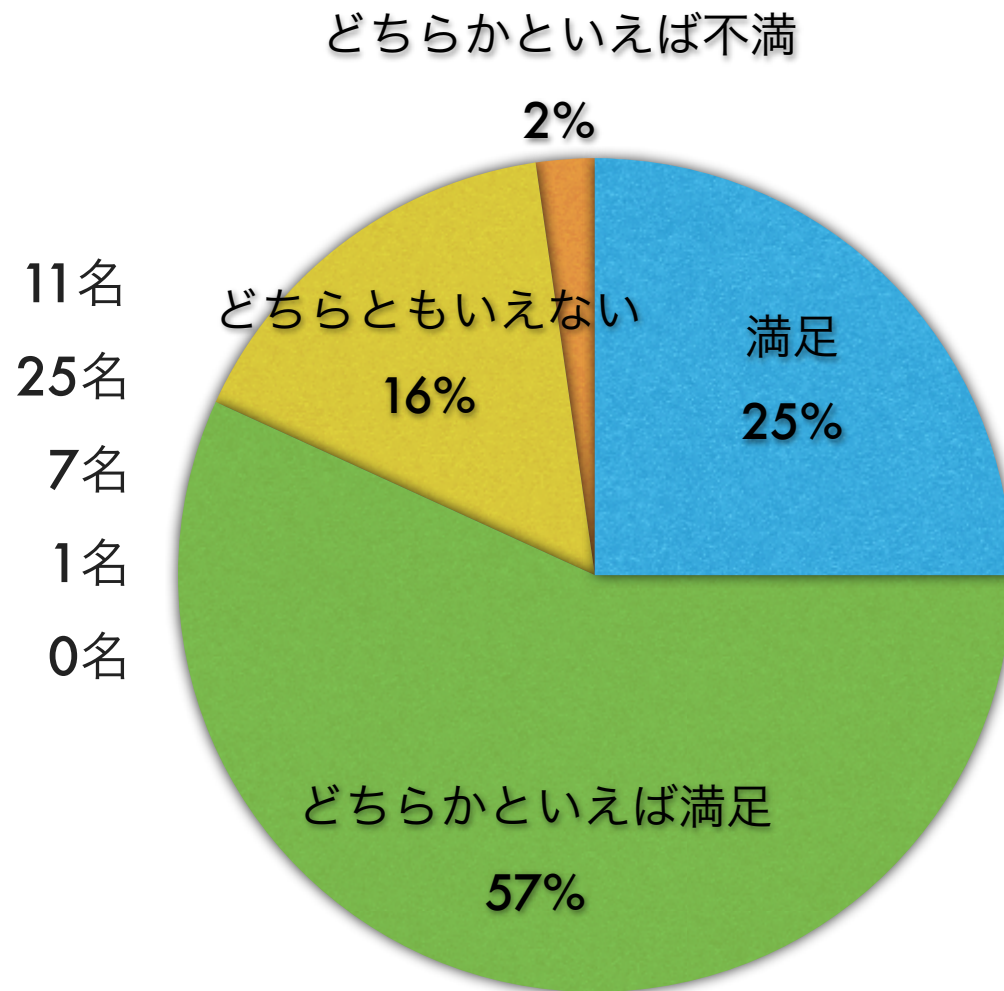
Q2.グループワークでの意見交換は十分できましたか？

- 満足
- どちらかといえば満足
- どちらともいえない
- どちらかといえば不満
- 不満



Q3. 今後の在宅医療推進に向けた取り組みへの理解が深まりましたか？

- 満足
- どちらかといえば満足
- どちらともいえない
- どちらかといえば不満
- 不満



交流会についてのご意見・感想

- ・多職種それぞれの悩み、連携のポイントがわかり勉強になった。とても有意義でした。私のテーブルでもそれぞれの職種で考えの違い、共通点があり「非常によかった」との声が多かったです。次は認知症のサポートを多職種で意見交換出来たら幸いです
- ・在宅医療との関わりがどのくらいあるか、によって、看取りまで出来るかどうかに関わってくるのが、他ホームの現状や意見を聴いて分かった。また、在宅医療を使うことで、利用者に生じる経済的な負担について言及された。民間会社の懸念も在宅医療の課題なのかなと考えさせられた
- ・グループホームの管理者ですが、現時点において体制が整っていないこともあり、看取りらしい看取りは行っていません。ご家族の思いとしては「最後までホームで見て欲しい」ということも聞かれますが、実際難しいのも事実です。入居者の方々が、日常的な主治医、かかりつけ医との連携、医療連携体制の整備など、まだまだ改善しなくてはいけない点が多々あるのですが、グループホームとしてどのような支援体制（医療的に）がいいのか、ということは今後学んでいくことが必要だと考えています

- ・ 看取りについていろいろな意見が聴けて、とても勉強になった
- ・ 他事業所の体制を知ることができ、今後の取り組みの参考になりました
- ・ 住み慣れた地域で、安心して生活出来る連携を考えていく
- ・ 常日頃の医師、看護師、薬局との連携を密にすること
- ・ 何かを大切にして支援、ケアマネジメントする必要があるのかヒントを得ることが出来ました
- ・ 様々な情報を得るいい機会でした。ありがとうございました
- ・ 連携拠点事業に関しては、多職種との交流、顔の見える交流、機会があることは非常に大切だと思います。介護だけ、医療だけでも成り立たない職種でもあるためいかに連携を図っていくのか？ということが課題でもあると感じました
- ・ 他事業所の管理者の方々の考え方が聞けた。多職種の考え方など聞けたことが良かった。今後もこのような会に出席し、理解を深めていきたい
- ・ ターミナルケアについては通所系はまだまだ実感の内容に思われます。ただ、今後必要になってくると思われるので、医療との連携は必要だと思う
- ・ 看取りについて、考え直す機会になりました。まだまだ勉強が必要だと感じております

- ・ 様々な職種の方の意見が本当に勉強になります
- ・ 「看取り」とひとことであるが、それをつつがなく支援するには、医療機関、医師、看護師、家族の連携、それを支えるホーム側の対応の確率は必須であることを再確認しました。次回はもう少しだけでも、積極性を持って会に臨みたいと思います
- ・ 今回のテーマについては、今後も話の出来る場があるとありがたく思えます。色々な他事業所の意見を聞けて参考になります